

2023(令和5)年度 事業報告書

2023(令和5)年4月1日から2024(令和6)年3月31日まで

特定非営利活動法人 C・キッズ・ネットワーク

1. 活動の成果

- ・ 2023年度は「SDGsの視点に立った講座の実施」を事業計画に掲げた。SDGsに関する講座プログラムは2022年度に一般向けを作成したが、2023年度はさらに学童保育向けと小学校高学年向けを作成した。学童保育向けプログラムは夏休みに実施できるように開発を急ぎ、32講座実施した。かるた、すごろく、ラップダンスを楽しみながら、私たちの身の回りの行動がSDGsにつながることを学ぶプログラムとなった。小学校高学年向けプログラムは3学期を中心に13講座実施した。2030年のSDGs目標達成に向け、消費者の意識を変える一助となることを願っている。
- ・ 出前講座ではパワーポイントを使用したりウェブでアンケートを行うことも増えてきたが、教材を使ったワークや参加者一人一人の生活を振り返るワークは人気があり、「楽しく分かりやすい」プログラムは今後も需要があると思われる。

2. 特定非営利活動に係る事業

消費者教育出前講座事業

- ・ 2023年度は361講座を実施し、9,166人が受講した。
- ・ 夏休みの学童保育児童対象講座は宝塚市、湖南省、伊丹市などから依頼があり、65講座実施した。土日やお盆休みを除くと毎日2~3講座実施したことになる。講師の確保、教材の事前準備や受け渡しの検討、講座当日、炎天下に大きな教材を持つ移動など講座を実施するには課題も多いが、毎年楽しみに待っている児童もいて、講師も気持ちよく取り組むことができる。
- ・ 特別支援校からは毎年継続して講座依頼がある。インターネット、契約の講座依頼が多いが、実際に教材を使ったワークが分かりやすいと金銭教育も人気がある。支援を必要としている人対象の講座は37講座実施した。



宝塚市・学童保育
「これってSDGsだね」
2023/7/24



湖南省・学童保育
「これってSDGsだね」
2023/7/31



伊丹市・学童保育
「Let'sトライ商売!本日開店“たこ焼き屋さん”」
2023/8/1

依頼者別講座数

	センター名	講座数	主な対象者	受講者数
兵庫県立の消費生活センター	消費生活総合センター	14	高校生・大学生・高齢者	172
	中播磨	5	中学生・高校生	144
	東播磨	3	高校生	58
	丹波	4	高校生	67
	西播磨	3	高校生	55
	淡路	2	高校生	28
県内市町の消費生活センター	宝塚市	70	学童・高校生・一般・高齢者・親子	1,546
	西宮市	40	未就学児・小学生・中学生・一般・高齢者	1,140
	明石市	26	小学生	766
	伊丹市	12	学童・一般・高齢者	257
	播磨町	11	小学生・中学生	651
	姫路市	5	小学生・高校生	762
	三田市	5	一般	75
	川西市	4	親子	54
県外の消費生活センター	豊中市	41	小学生・中学生・高校生	1,497
	岐阜県輪之内町	14	小学生・中学生	331
	東大阪市	9	小学生・一般・高齢者	168
	湖南省	8	学童	195
	東京都台東区	1	一般	9
消費生活センター以外	コープこうべ	56	一般・親子	565
	ひょうごエコプラザ・ひょうご出前環境教室	7	未就学児・学童・一般	138
	奈良県金融広報委員会	4	親子	114
	多可町生活安全課	3	未就学児・中学生	78
	三田市いきいき高齢者支援課	3	高齢者	77
	とよなか障害者就業・生活支援センター	2	要支援者	49
	兵庫県立消費生活情報プラザ	2	親子	26
	赤穂市役所市民対話課	1	小学生	42
	加東市消費者協会	1	一般	33
	大阪府太子町	1	一般・高齢者	18
	フレミラ宝塚	1	高齢者	22
	吹田市吹六地区公民館	1	一般	13
	阪神友愛食品(株)能力開発センター	1	要支援者	13
	神戸こどもエコチャレンジ21 倶楽部	1	学童	3

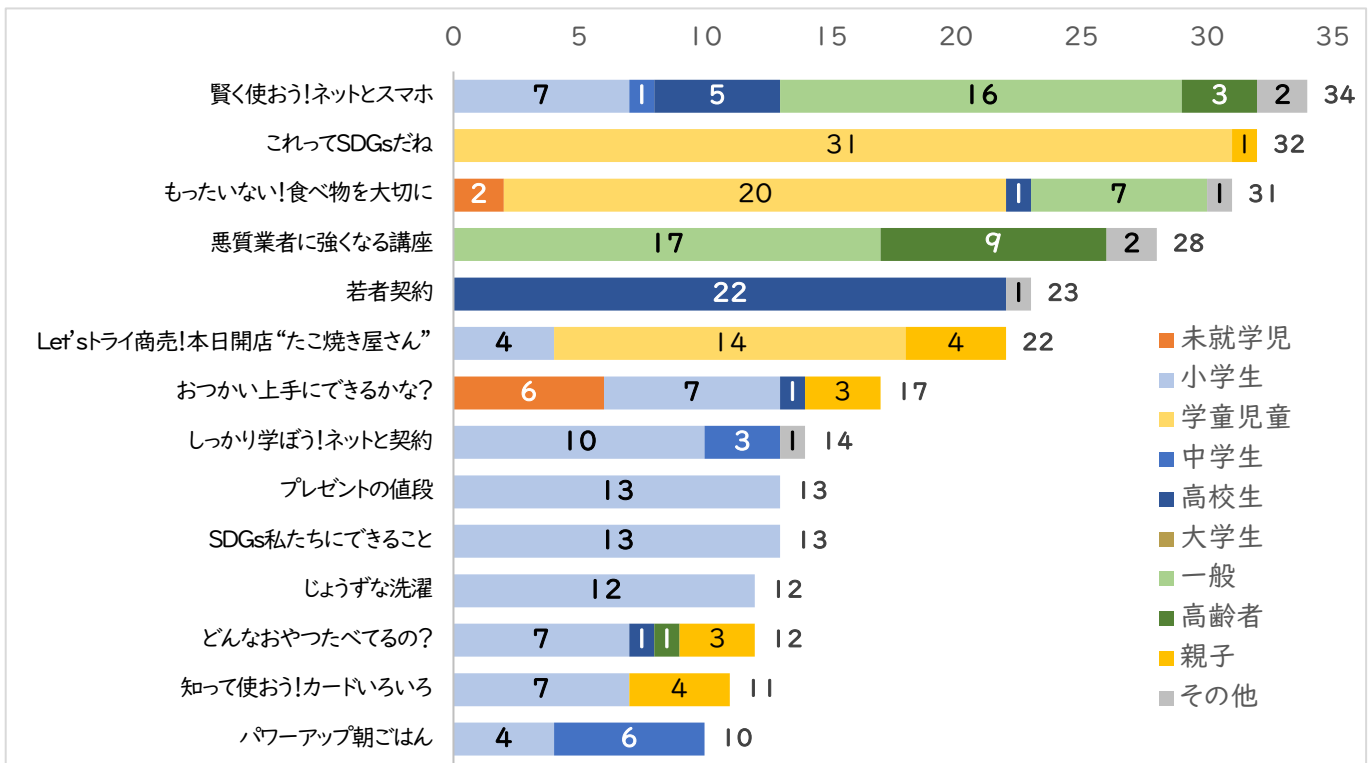


コープこうべ・コープ委員会
「いきいき老後」
2023/11/11

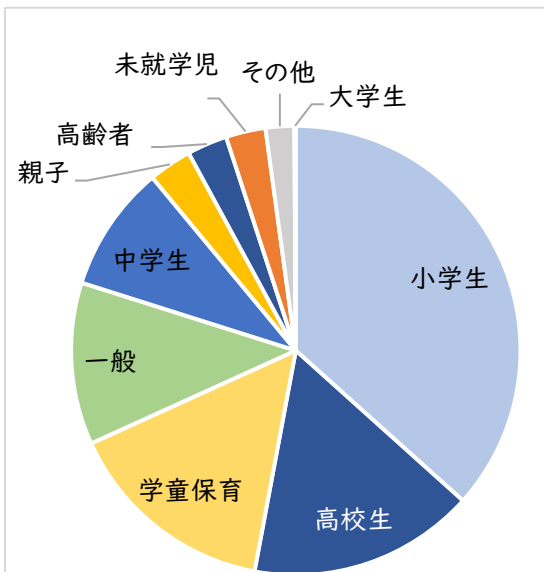


障がい者就業支援センター
「悪質業者にまけんぞうスゴク」
2024/3/2

実施回数の多かったプログラム(2023年度)



対象者別受講者数



対象	人数	講座数
小学生	3,359	101
高校生	1,494	38
学童保育	1,400	65
一般	1,069	78
中学生	834	18
親子	285	20
高齢者	265	16
未就学児	262	12
その他	189	12
大学生	9	1
総計	9,166	361



西宮市・小学校
「SDGs私たちにできること」
2023/12/13



宝塚市・学童保育
「これってSDGsだね」
2023/8/10



宝塚市・学童保育
「Let'sトライ商売!
本日開店“たこ焼き屋さん”」
2023/8/9



多可町・認定こども園
「おつかい上手にできるかな?」
2023/11/13

消費者教育研修事業

外部向け研修

- 下表のとおり、託児ボランティア、民生委員、小中学校教員など専門家を対象とした研修を行った。

日	開催地	対象	受講者数	内容
7月7日	伊丹市	託児ボランティア	21名	子どもの安全「成長と共に危ない!は変わる」 子どもの事故事例と防止法の情報提供
8月2日	伊丹市	民生委員	29名	「だまされない!インターネット・スマホ」 ネットとスマホの注意点やトラブルを具体的な 事例で確認し対処法を考える
9月6日	豊中市	中学校 技術家庭科教員	13名	「もったいない!食べ物を大切に」 中学校用模擬授業
1月17日	豊中市	小学校 給食部会教員	9名	「もったいない!食べ物を大切に」 小学校用模擬授業

会員向け研修

- 当会会員や外部講師による研修を3回実施した。

日	テーマ	講師	参加者	内容
12月6日	消費者セミナー 私たちの暮らしと独占禁止法 の関わり かしこい商品選択 -景品表示法とは-	公正取引委員会 近畿中国四国事務所 取引課 前川氏	4名	会場およびWEB参加
1月13日	ネット講座3種類のデモと ねらいの解説	よりはうす 小山千智氏	12名	東大阪市で活動している 新団体で実施している ネット講座プログラムの紹介
3月16日	オーストラリアの消費者教育	当会 会員 タン ミッシェル	12名	オーストラリアで実施されて いる金銭教育について、 HPを使っの紹介

消費者教育支援事業

- 2024年度、神戸女子大学心理学部の授業の一環に消費者教育を取り入れることとなり、担当の教授と打ち合わせを開始した。

消費者教育教材及びプログラム開発並びに提供事業

「これってSDGsだね」プログラム開発

夏休みの学童保育の講座で使用するプログラムを開発した。

かるたやすごろくを楽しみながら、身近な行動がSDGsにつながることを学ぶ内容になっている。最後は「SDGsラップでダンス!」で振り返り、子どもたちはノリノリで踊ってくれた。



SDGsかるた



SDGsすごろく



SDGsすごろく



SDGsラップでダンス!

「SDGs私たちにできること」プログラム開発

小学校高学年向けに授業で使用できるプログラムを開発した。

すごろくやクイズを使用しながらSDGsについて学び、自分たちにできることを考えるプログラム。



SDGsすごろく卓上版

私たちにできること

プラスチックごみを減らそう!

- 買い物するときはマイバッグを持っていく
- プラスチックのストローやスプーンをもらわない
- 水筒を使う
- ゴみを持ち帰る

クイズ2

日本の国会議員のうち女性は50%いる?

女性は50%いる

女性は50%いない

講座で使用するスライド

「おつかい上手にできるかな?」教材リニューアル

長年使用してきた教材が傷んできたため、新しく商品カードを作り直した。

また、プログラム内容も見直した。



講座風景



商品カード例

調査研究・情報収集及び提供事業

- 消費生活情報プラザ担当者が消費者教育コーディネーター会議に参加し、情報収集を行った。

イベントの企画及び提供事業

- 行政主体のイベントはコロナ以降減少傾向にあり、今後もこのような状況が続くと思われる。

開催日	場所	名称	内容
7月2日	伊丹市	アースデイいたみ	伊丹市協働事業「ストップ!!食品ロスいたみ」での活動。〇×クイズで食品ロス削減に対する啓発。120人参加
8月19日	伊丹市	夏休み こどもワーク ショップ	伊丹市協働事業「ストップ!!食品ロスいたみ」での活動。もったいないすごろく、SDGsすごろくを使って啓発。64人参加
11月11日	西宮市	消費生活展	「SDGs」をテーマにクイズ、かるたコーナーを設置。89人参加
8月16日～25日	宝塚市	環境都市宝塚推進 市民会議 パネル展	SDGs すごろくパネル展示
11月2日～15日	宝塚市	食育パネル展	食品ロスに関するパネル展示及びFM出演による広報活動
3月24日～31日	宝塚市	環境都市宝塚推進 市民会議 パネル展	SDGs すごろくパネル展示



アースデイいたみ「〇×クイズ」
2023/7/2



環境都市宝塚推進市民会議
パネル展 2023/8



エフエム宝塚・生放送

宝塚市
食育パネル展
2023/11/7



西宮市消費生活展
2023/11/11

消費者相談事業は休止

消費生活情報プラザの運営に関する事項

- ・ 月～金曜日はアドバイザーを配置し、窓口業務、利用者への助言、消費者啓発講座の実施など、県民へ消費者啓発を行っている。
- ・ 2023年度は、ハイブリッド消費生活講座(オンライン参加・会場参加・見逃し配信あり)を13回、こども生活講座を2回、消費者力アップ体験学習会を2回実施、中高生向けの消費情報メールを3回発行した。また、講座の会場参加者にミニレクチャーを6回実施した。



夏休みこども生活講座
「SDGs」私たちにできること
2023/8/2



ハイブリッド講座 井戸美枝氏
～間違えだらけの老後への備え?～
安心して暮らすための生活設計
2023/9/1



講座後ミニレクチャー
スクリーンショットのやり方
2024/2/2

3. 事業実施体制

管理運営・会議に関する事項

通常総会

- 開催日 2023(令和5)年5月27日(土)
開催場所 西宮市
出席者 25名(うち表決委任者11名 ※会員総数42名)
議事内容 2022(令和4)年度 事業報告、決算報告の承認

理事会

- 開催回数 合計11回
開催場所 オンライン

例会

- 開催回数 合計7回
開催場所 西宮市4回、神戸市3回

会員の状況

- 会員 42名
賛助会員 3名 (2024年3月31日現在)

事務所運営

週3日 事務担当1名

会への問い合わせ対応、会計事務、各種書類作成、教材管理など

広報活動

広報紙 年1回発行

ホームページ 活動レポート随時更新 <http://ckids-net.org/>

